

# 沼垂小学校区コミュニティ協議会便り

第1号

発行日：平成27年12月20日

編集&発行：沼垂小学校区コミュニティ協議会

## お元気ですか。コミュニティ協議会長 山岸健治

各小学校区毎に組織なされて10年を経て当協議会も今迄出してなかったコミ協便りを発刊（年に2回程）する事になりました。

多くのコミ協は早くからコミ協便り、PR紙を出して居りましたが当コミ協は諸般の事情に依り今日に至りました。

中央区所属の各コミ協のなかで当コミ協は他と異なり地理的条件で一つにまとまるためには時間がかかり、地域町内会・小中学校及びPTA・民生児童委員・交通安協・防火



建築途中の沼垂白山神社神輿蔵  
12月8日撮影

連合等々、多岐に渉る関係者の御協力に依り組織されました。

この間に年間事業計画、スタッフ、宣伝、安全対策等を図り、桜まつり 沼垂フェスタ、沼垂まつり、沼垂寄席、防災訓練が行われてきましたし、地域に密着したコミ協の活動となりました。地域住民大多数の皆様の御協力に依るものと感謝申し上げます。特に当コミ協の行事で特記したい事は防災訓練に付いてであります。他地区の事は別として当コミ協に於ける防災訓練は三地域分かれて行われます。本馬越紫竹1地区、沼垂日の出地区 沼垂明鏡地区と三地区で訓練しますので各町内会、各エリアの役員方々の御協力に対し会長として重ねて感謝申し上げます、今後とも御助力御協力を下さる事をお願いして筆を置きます。

追伸 コミ協便りに今後建設的な意見、要望等がありましたら御投稿下さい。

役員の写真 左から

竹田会計、本間副会長、奥田副会長、山岸会長  
青柳総務、平防災本馬越紫竹1ブロック長、小田副会長  
山崎環境文化部長、関本青少年育成部長、野崎福祉部長  
加藤防災上町日の出ブロック長  
田村防災明鏡ブロック長は右写真



## 笹だんご作り体験会

### 蒲原祭り名物、沼垂笹だんご 芳原3 坂井ヨミ

沼垂小学校区コミュニティ協議会の主催で、7月26日午前10時～正午まで、だんご作りをしました。私達の年代では、端午の節句や蒲原祭など、どこの家でもつくったものです。時代の流れと共に今では「食にしろ」「物にしろ」何でも手に入る時代になり、手作りする人達が少なくなりました。

そこで若いお母さん方に継いでもらおうと参加を募ったところ40人ほどの方が集まり挑戦して頂きました。笹には殺菌作用があり、戦国時代には携帯保存食として生まれたとされ戦国の武将の上杉謙信が発明したと

いう俗説もあります。笹だんごの中に小豆の餡が入るようになったのは庶民の手に砂糖が入るようになった明治中期以降といわれています。

笹だんご作りは、手間暇がかかりますので、今回は用意された団子の生地を詰めて笹に包み菅のひもで両端を縛り中央で結ぶ作業を皆でやりました。

出来上がった形は、うまく見えたのですが、いざ蒸してみたら結び方がゆるかったせいか餡が飛び出し形がくずれ着物の帯結びがほどけたような格好になり、みんなで大笑いしま



した。笹の香りが、ぷうんと漂う笹だんごをほおぼりながら「美味しいね」



「うんめいねえ」と幸せそうな顔がみえ、豊かな気持ちになりました。新潟名物「笹だんご」の伝統的食文化を継承し次世代にこれからも伝えていきたいものです。



### 環境文化部 落語・三遊亭白鳥 部長 山崎正人

「やいや、さあめなつたねえ」「ほんにさあ、腰がいとてさあ」おじさん、痛いわりには笑顔だねえ。今日は毎年恒例となった『なじらね沼垂寄席』の日だ。今年は上越出身の三遊亭白鳥さんに口演して頂きました。年間を通して沼垂コミ協では様々なイベントを企画しています。

春は桜まつり、初夏はなじらねフェスタ、この二つは若者が中心になるイベントなので屋外がメイン会場になります。そしてもう一つの大きなイベントが『なじらね沼垂寄席』です。この日は沼垂のあちこちからご年配の方がたくさん集まってくれます。

皆さんの笑顔を見ているとスタッフもすこく元気になります。

今年は笹団子作りも企画しました。環境文化部では若者だけではなく、老若男女皆さんが楽しめる様、今後も考えていきたいと思ひます。

### 西龍ヶ島 本間 麻里子

環境部に入ったことをきっかけに、初めて『沼垂寄席』に設営準備として参加させていただきました。落語を聞くのも初めてでしたが、初心者向けに聞き方の説明を落語家の白鳥さんが教えてくれたおかげで、とても楽しく拝聴することができました。と同時に無料でこんなにも楽しいイベントがあるならば、もっともっと若い人や子供達も来てくれたら

良いのになあと。今後も老若男女、幅広い世代の方々に参加してもらえよう、広報宣伝などの工夫をしていければと思います。

たくさん笑って心も体も暖まりました。ありがとうございました。

### 上三ノ丁 山口 裕子

初めて（なじらね寄席）に行きました。眠たくなるような、お堅い落語と思って行きましたが大間違いでした。健康でいられるための知識や、会場全員でやった健康体操、地元ネタを交えた放送できない落語や、話の途中で鳴ってしまったケータイの着信音でさえ、全て笑いにしてしまうエンターテイメントの宝庫でした。もっと若い方にも日本の古き良き芸能に触れてほしいと思いました。

### 西馬越 平井 真紀子

私は環境部としてのお手伝いも初めてでしたが、寄席を見るのも初めてでした。右も左も分からず不安もありましたが、会場設営をしている間にも待ち切れず入って来られる方がポツリポツリ。開演する頃には椅子も座布団も満席で嬉しくなりました。

いよいよおでんの香り漂う会場に白鳥師匠の登場です。観客も巻き込んで身振り手振りの楽しい一時。ココだけの貴重な禁断ネタもあり大満足の初寄席となりました。

# 自主防災訓練



## 明鏡地区 11月7日土曜 万代高校にて

### 天に感謝

ブロック長 田村 貞睦

当年の防災訓練が国交省主催大規模防災訓練と連動で11月7日(土)に実施との話が市よりありました。その時にまず頭に浮かんだのは天候がどんなかという事で、天候次第で住民の参加が違ってきます。幸い当日は曇りで風も無く恵まれた一日でしたので、住民の皆様には多数のご参加を頂き御礼申し上げます。又、会場である万代高校が大きなスポーツ大会と模擬試験などがあり様々な制約がありましたが、大きなトラブルも無く無事終了し感謝しております。ありがとうございました。

コミュニティ協議会総務 青柳 司郎

毎年、防災訓練が来ると、あらかじめマニユ

アルをつくっておき、チェックをしていく事が大事だと思っていますが、ついつい気の緩みから忘れてしまうことが多く、今年こそと思いながら出来ない気の弱さに反省しています。

五軒町町内会長 佐藤環

突然起こりうる災害に対して平常時の準備としての訓練は、効果的だったと思います。天候にも恵まれ成功の内に終わったと思います。いつもながら訓練に参加する人数の確保に苦慮している所です。

気になった点は、高齢者が多い中、ビデオを使ってのスクリーンが小さかった事と、訓練の進行について、今少しテキパキと迅速に出来たら良いと感じました。



民放TV取材

## 本馬越・紫竹1地区 9月27日

ブロック長 平 明郎

防災訓練は今年で12年目を迎える第12回の訓練を総務課安心安全係職員、山潟出張所職員等の指導を頂き参加者全員が真剣に訓練を実施しました。

「継続は力なり」と申します。防災訓練に参加し、自分の命は自分で守りましょう。

紫竹1丁目自治会長 小田一司

本馬越連合防災会に参加する様になり十年余り、年に一度の開催ですが諸準備に携わる方々に毎回感謝しております。

毎回回覧板を通じ参加を呼び掛

けておりますが紫竹1丁目からは20名前後の参加者です。町内全体で370世帯を抱えていますので、出来ればもう少し参加人数が増えてくればと思うところです。

本馬越3区自治会長田中久雄

今年の防災訓練に参加し高齢者主体のマンネリ化されがちな訓練の中、多くの中学生の参加があり活性化され、有意義な訓練になったと思う。今後の課題は、もっと中間年齢層の方が積極的に参加できるように呼びかけるつもりです。

本馬越1 竹田陽子

給食給水班に参加しましたが、



本馬越紫竹1 消防団参加

この班はベテランの方が多いため手際も良く、新人の方には作り方のコツの説明をしていました。

毎年、パック詰めが大変ですが、順調に作業は進み、今年もおいしいとの感想をいただき喜んでいきます。



本馬越紫竹1 中学生参加



消火体験 沼垂小



沼垂小屋上で車椅子操作

## 上町.日の出地区 10月18日

防災訓練の日

日の出3丁目3区 加藤禮子

毎年その日がやってきましたが、まだまだ慣れなく、小学校への避難訓練の道のりとか、体育館で消防署員等の説明を聞いている際とても緊張し、果たして災害にあった場合ちゃんと訓練通りにできるのか、日頃防災に対し、もっとそれぞれが認識を持っていかなくてはと思います。

日の出1町内会長 片山博司

毎回300名以上の参加で実施できた事は、各町内会の取組の賜物と思います。沼垂小学校、消防署との事前打合せ等の準備をしっかりと行って頂いたコミュニティ協議会事務局の御努力に感謝致しております。

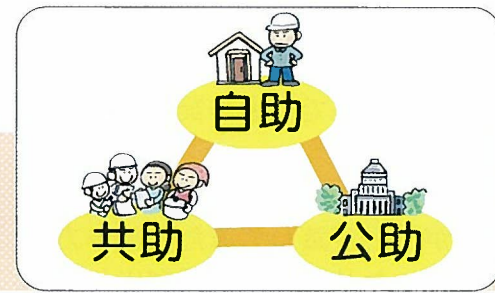
日の出3丁目3区 安達吉本

毎回参加する事で、訓練した人と参加しない人では、不安の度合いが違います。AEDの使い方や、心臓マッサージなど、思い出すでしょう。防災は訓練の繰り返しで身に付くと思います。備えあれば憂い無しで災害の予防接種だと思って、なるべく多くの皆さんに参加してもらいましょう。

自助・共助・公助が大切

救出救護部長 日山邦雄

多数の参加頂き感謝していません。温暖化が進み災害は他人事ではありません。市の説明に、「自助」まず自分の身を守り災害への備えや避難を考えておく、「共助」地域や近隣との助け合い「公助」公的機関の援助で安否確認や災害支援要請とあります。



訓練を通し、いかに行動できるか真剣な取組が必要です。



AED操作訓練 沼垂小



簡易担架作成 沼垂小体育館

## 編集後記

年内には、沼垂小学校区コミュニティ協議会便りを出すために、細かいことには構わずとりえずの発行になりました。

次号は、もう少し読んで楽しい紙面、読みたくなる紙面にすべく、よろしくお願ひ致します。庭に咲いた椿の

